

あなたの声を市政に届けます!

人の輪だより

村上ひろしと市民ネットワーク「後援会」

〒860-0073 熊本市中央区島崎1丁目9-13

TEL/(096)328-2650(市民連合)

FAX/(096)324-7777

新年のご挨拶

笑顔で集いあえる1年に

「村上ひろしと市民ネットワーク」
代表 村上ひろし



新しい年が始まります。

昨年は、様々な出来事や事件が起きましたが、何と言っても最大の出来事は「新型コロナウイルス」の発生です。日本だけでなく世界を揺るがす大問題の発生でした。

TOKYOオリンピックの開催も1年延期されたものの、コロナの感染状況次第では2021年の開催も危ぶまれます。様々な行事や活動が中止になり、集い、顔を合わせることで確かめ合い、気遣いあう、人と人との絆にさえ、大きな楔を打ち込まれた暗たんたる気持ちです。

新型コロナの蔓延が今後いつまで続くのか、先行きが見えず、大きな不安を世界中に与えています。

しかし、有史以来、世界中で1億人が亡くなったといわれるスペイン風邪や中世のヨーロッパで猛威を振ったペストも、ワクチンの発明など、これまで人類は幾つもの危機をその都度、乗り越えてきました。

きっと新しいワクチンが発明され、新型コロナウイルスを終息させ、克服する年になること、ふたたび、安心して笑顔で集いあえる日がやって来ることを、新しい年における、全ての人たちとの共通の希望としましょう!!

新年のご挨拶

本年も宜しくお願い致します

後援会長 吉住 眞



新年 明けまして おめでとうございます。

本年こそはうつうつとしたコロナ苦を終了させ、手足を伸ばせる明るい年になることを祈ります。

幸いにも予想以上に早くコロナワクチンが登場し、希望は見えてきたようです。しかし、油断することなく感染予防の注意は続ける必要があると思います。

さて、当会では、本年も会員や市民の皆様の声を汲み上げ、村上さんが市議会にて質問、要望などを代弁し、より良い市民生活を実現できるよう、活動して参ります。また、我々熊本市民が知っておくべき事柄については市政報告を含め、講演会、勉強会などを企画していきますので、皆様もご参加、ご討論をよろしくお願いいたします。

皆様の新年の弥栄を願いながら、ご挨拶させていただきました。



「村上事務所でよかった!!」

インターンの活動を通し、普段の生活では気づかない多目的トイレの配置や空間設計について深く考える様になりました。

また、街中のスロープや少しの段差の影響や多くの方々からお話を聞き、今までに無い視点で物事を捉える、考える力など、多岐に渡り学べました。村上さんの下で活動でき本当によかったです。



浅井 聡太
(熊本大学2年生)

「インターンシップの体験が大きな財産」

いろいろなプログラムを経験できたインターンシップでした。村上さんから新聞づくりの課題を出されました。振り返る中で、活動中に感じたことが次々に蘇り、私のとても大きな財産になっていることを改めて実感しました。



西園 彩花
(県立大学1年生)

緊急!!

ひとり親世帯への特別給付金 【申請期限は2021年3月末まで】

2020年の第4定例会(12月議会)で「ひとり親世帯への特別給付金」の予算が可決されました。前回対象外だったひとり親世帯のうち、「年金受給世帯」と「児童扶養手当の対象外」だった約450世帯が、今回の対象となります。今回対象になる方は申請が必要です。諦めずにご確認ください。

『全ての学校のバリアフリー化を!!』

ヒューマンネットワーク事務局

次長 植田 洋平

2020年、バリアフリー法が改正され、公立の小中学校はバリアフリーの義務化対象となりました。学校とバリアフリー、まさに、市議の村上さんが率先して取り組むカテゴリーです。このバリアフリー法改正は、新設または増改築の学校だけが義務化対象なのです。この少子化の時代にその程度の対象では実効性がありません。そこで義務化対象以外の学校も整備するように文科省が設置した委員会から緊急提言が出されました。

12月に国が令和7年までの整備目標を設定するため、そこから市区町村が整備計画を策定します。この整備計画を充実した内容にするため、村上さんには、2021年の大きな目標として、熊本市全ての学校のバリアフリー化を進めていただくために尽力いただきたいです。

“村上ひろしさんを応援しています!!”

医療的ケアを必要とする子どもたちの豊かな学校生活を願う親の会・にじいろの会
代表 橋村 りか

私は「重度」の障害がある子どもの親として、「にじいろの会」で活動しています。車いすですり内各地を駆け回る熊本市議の村上ひろしさん。任期中に市内すべての学校を訪問。子どもたちの姿に触れ、保護者の想いに寄り添い、さらに、里親制度や、「このとりのゆりかご」、児童虐待、など、そこにあるのは、「声をあげることができない」人々への想いです。障害のある人、子ども。ひとり親世帯。虐待を受けた子ども。助けを求めることができず苦しむ人々。最も助けを必要とする人たちの「声なき声」に耳を傾け、市政に届けています。私たちは、これからも、村上さんを応援します。



村上ひろし2020年の活動ダイジェスト



幸山さんを迎えるの市政報告会



電車整備工場見学



連日のつたち(大甲橋)



11月には珍しい暑さでシャツをめくりあげてのつたち(子飼橋交差点)



学生車椅子街中体験



街中でのバリアフリー調査



セルフ給油問題(倉田哲也さん)



「コロナ禍のお産事情について」(助産師:小野田由紀子さん)